

はしか（麻疹）についてのお知らせ

首都圏を中心に発生した「はしか（麻疹）」は、全国的に広がる傾向にあります。西日本でも、いくつかの大学で「はしか（麻疹）」による休校等の措置がとられています。本学においては今のところ、はしか（麻疹）の発症に関する報告はありませんが、注意が必要です。はしか（麻疹）は学校保健法施行規則 19 条により、第 2 種（飛沫感染する伝染病）と指定され、「解熱後 3 日を経過するまでは出席停止」となっています。

感染が疑われる場合は、健康支援室へ連絡するとともに、最寄りの医療機関を受診してください。
下記の点に注意して、感染予防・まん延予防に取り組んでください。

【注意点】

- ◎発熱（37.5 度以上）がある場合は、登校や出勤を見合わせて、最寄りの医療機関にて診察を受けてください。
風邪と勘違いして市販の風邪薬を服用することのないようにしてください。
- ◎うがい、手洗いの徹底、およびマスクの着用をしてください。

【はしか（麻疹）について】

- ◎ 感染経路：飛沫・空気感染
- ◎ 潜伏期間：10～12 日くらい
- ◎ 症状
2～3 日間は、風邪に似た症状（熱、咳、鼻水、目やに）が続きます。
発熱 3～4 日後に頬の内側の粘膜にコプリック斑といわれる小さな白い斑点がでます。
一旦熱が下がり、再び高熱が出ると同時に、**発疹が首・顔・全身に現れます。**
熱は発疹が現れてから 3 日くらい続きます。発疹は色が薄くなっても、色素沈着を残すのが特徴で、5～6 日程で皮がむけるように取れるとも報告されています。

【治療】

特別な治療法はなく、対処療法が中心の治療となります。
予防法は、ワクチン接種を行うことです。はしか（麻疹）に感染した人と接触した場合、接触後 3 日以内ならワクチンで感染を予防できる可能性があります。
家庭では、静かな部屋で寝かせ、安静にします。咳が激しい時は、加湿します。熱が長く続いて脱水症状をおこしやすいので、水分を十分に補うことが大切です。
食事は、消化がよく、口当たりの良いもの（お粥、プリン、アイスクリームなど）が良いでしょう。

はしか（麻疹）と診断された場合は、健康支援室へ必ず連絡してください。

健康支援室